

④ベニヤ板・木下地



施工面がヤニやホコリ等で汚れている場合は水で濡らして固く絞ったタオル等で拭き取ってください。
汚れが落ちにくい場合はリフレパウダー希釈水で拭き取ってください。



つなぎ目やクギ頭（ビス頭）などはあらかじめ締めおきます。



施工後のひび割れを防止するため、継ぎ目にメッシュのファイバーテープを貼ります。



凹凸や段差がある場合はパテで平滑な面を作り、パテ乾燥後に紙ヤスリをあてて更に平滑な面を作ります。
作業後、まだ段差がある場合は平滑な面ができるまでパテ塗り→ヤスリがけを繰り返してください。



平滑な面ができたらパテの粉を取り除きます。濡らして固く絞ったタオル等でよく拭き取ってください。
パテの粉が残っていると接着不良を招くおそれがあります。



木材のアク止め処理をします。
リバーシシーラーを2回塗布してよく乾燥させてください。
この処理を怠ると、リバーシコート塗布後に木部からアクが出て茶色に変色する場合があります。



ローラーまたは刷毛でリバーシコートを塗布します。
リバーシコート仕上げ（P.10参照）にする場合は、下地が見えなくなるまで複数回塗布してください。

⑤漆喰壁

壁を触っても簡単に剥がれ落ちないようなら、剥がさずにそのまま下地処理を行ってください。
ポロポロと簡単に剥がれ落ちる場合は、ヘラ等で表面を掻き落とす必要がある場合もあります。
その後、砂やホコリは固く絞ったタオル等できれいに拭き取ってください。



施工面がヤニやホコリ等で汚れている場合は水で濡らして固く絞ったタオル等で拭き取ってください。
汚れが落ちにくい場合はリフレパウダー希釈水で拭き取ってください。



全面にリバーシシーラーを2度塗りして表面を固めます。



リバーシシーラー乾燥後、水性シールパテ（シーラー・パテ両方の効果）で段差や凹凸のある部分にパテ処理をして壁面を平らにします。

※ヤヨイ水性シールパテ、または同等のパテをご使用ください。



パテが完全に乾いたら一度紙ヤスリをかけ、さらにもう1回パテを塗ります。



パテ乾燥後、紙ヤスリをあてて平滑な面を作ります。
作業後、まだ段差がある場合は平滑な面ができるまでパテ塗り→ヤスリがけを繰り返してください。



平滑な面ができたらパテの粉を取り除きます。濡らして固く絞ったタオル等でよく拭き取ってください。
パテの粉が残っていると接着不良を招くおそれがあります。



ローラーまたは刷毛でリバーシコートを塗布します。
リバーシコート仕上げ（P.10参照）にする場合は、下地が見えなくなるまで複数回塗布してください。